

「雪の山の春」昭和40年(1965) ひろしま美術館 蔵(株式会社 広島銀行 寄託)

生誕130年記念

旅
する文人



小林和作

平成30年

9月22日 | 土 |

11月18日 | 日 |

「開館時間」午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

「休館日」二月曜日(祝日は開館)



「海」昭和29年頃(ca.1954) 広島県庁 蔵

観覧料 | 一般 / 800円、高・大生 / 550円、中学生以下無料 [前売りは各200円引、ちゅーばーくらぶ会員と団体(20名以上)は各100円引] ※前売券販売所: 中国新聞販売所(取り寄せ)、中国新聞備後本社、啓文社各店、JR尾道駅前観光案内所 ※70歳以上、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料 ※10月13日(土)は灯りまつりに合わせ午後8時まで閉館(入館は午後7時30分まで) | 主催 | 尾道市立美術館、中国新聞備後本社 | 後援 | 広島県、NHK広島放送局、尾道エフエム放送、ちゅーびCOMおのみち、エフエムふくやま | 協力 | 和作忌協賛会



尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

【公式HP】 <https://www.onomichi-museum.jp/>

背景: 「秋の山(部分)」昭和18年(1943) 水彩・紙(屏風) 尾道市立美術館(丹下コレクション) 蔵

130 旅 する文人

小林和作

生誕130年記念

旅する文人 小林和作

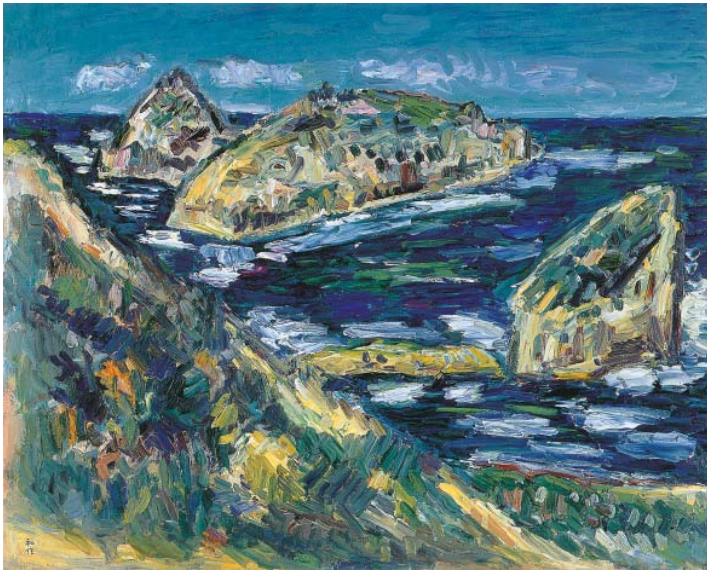
平成 9月22日 | 土 | - 11月18日 | 日 |

30年

開館時間 | 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
 ※10月13日(土)は灯りまつりに合わせ午後8時まで開館 (入館は午後7時30分まで)

平成30年(2018)、尾道市は市制施行120周年の記念すべき年を迎えました。市制施行は、明治31年(1898)、その10年前の明治21年(1888)8月14日、後に尾道市の文化振興に深く関わり、名誉市民にも選ばれた洋画家・小林和作が、当時の山口県吉敷郡秋穂町(現 山口市)に生れました。

本展は、小林和作生誕130周年の記念すべき年に、小林和作を尾道に訪れた文人として捉え、「萬巻の書を読み 萬里の道を行く」という文人の理想の旅を、尾道を拠点に実践した小林芸術の展覧を通じて、人間・小林和作の魅力に迫ると共に、尾道との出会いの必然性をも感じていただければ幸いです。



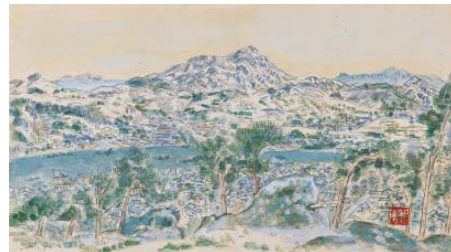
「隠岐白島」 昭和43年(1968) 油彩・カンヴァス 広島県立美術館 蔵



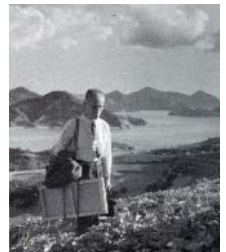
「初冬の山」 昭和28年頃(ca.1953) 油彩・カンヴァス 個人 蔵



「秋の山」 昭和18年(1943) 水彩・紙(屏風) 尾道市立美術館(丹下コレクション) 蔵



「尾道(千光寺山より)」 昭和21年(1946) 水彩・紙 個人 蔵



「小林和作」 昭和26年(1951)

【特別記念講演会「小林和作とその作品の底流」】

講師：高橋玄洋氏(作家)
 日時：9月22日(土) 午前10時～(1時間程度)
 場所：尾道市立美術館 2F ロビー

【わいわい がやがや おしゃべり鑑賞会】

日時：9月30日(日)、10月21日(日)
 両日とも午後2時～午後3時まで
 対象：中学生以下。参加無料、申込み不要。
 付添いの方1名は無料で入館。
 内容：こどもたちを対象にした鑑賞会です。鑑賞資料をもとに、楽しくおしゃべりしながら作品鑑賞します。

【朗読会「和作放談～和作花咲く花咲爺～」】

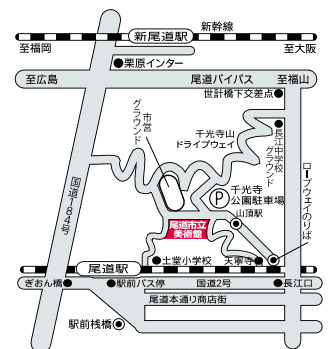
講師：西原通夫氏(元尾道市立土堂小学校校長)
 日時：10月6日(土) 午後2時～(1時間30分程度)
 場所：尾道市立美術館 2F ロビー
 ※要入館料・事前申し込みが必要です。
 申込先：尾道市立美術館(TEL.0848-23-2281)

【ギャラリー・トーク】 ※当館学芸員が担当

日時：10月7日(日)、11月18日(日)
 両日とも午後2時～(40分程度)
 対象：一般。参加無料、申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

【特別記念茶会】

日時：10月14日(日)、10月28日(日)、11月11日(日)
 午前10時～午後3時
 場所：尾道市立美術館 2F ロビー
 料金：1,000円(観覧料を含みます)
 協力：茶道速水流濂源会尾道支部、煎茶道三葵亭賣茶流尾道支部
 表千家同門会備後支部(尾道)
 ※お問合せ先：尾道市立美術館(TEL.0848-23-2281)



●JR山陽本線「尾道駅」から東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。
 ●お車の方は千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園」駐車場(有料)をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。
 ●JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

